

No.	懇話会での意見等	発言者
1	<p>ごみ処理施設整備に伴う環境対策のまとめと今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境影響評価の項目を設定するとき、厳しくするものは厳しく、緩めるものは緩め、地域に合った基準にすることはできるか。</li> <li>・ この辺は農業地域であり、また、雫石川でサケのふ化事業をやっている。ごみ焼却施設ができた後に風評被害が出ないように対策しなければならない。</li> <li>・ 盛岡市クリーンセンターが設定している排ガス基準は、守っていくのが結構厳しい値になっている。今設定している値も、施設整備検討委員会の中で委員から意見を頂き、適切な値を設定していければと思う。</li> <li>・ 現に稼働している施設の厳しい基準を、例えば「コストがかかりすぎる」という理由で緩く設定することを住民に説明しきれるかどうか。設定の仕方はとても難しい。</li> <li>・ アセス(環境影響評価)を実施する場合、2年目位には施設の規模が決まらないと影響評価ができない。1年以内にはどういう施設か、どれだけの負荷かなどを早めに決めなければいけない。</li> <li>・ 予算を比較的潤沢に使えた頃、技術開発も日進月歩な頃は、より安全にという方向で仕様も決まった。最近は財政がひっ迫しており、一方でカーボンニュートラル・脱炭素化の観点があり、高い基準の追求はそれらと相矛盾するところがある。</li> <li>・ 例えば、窒素酸化物対策で、触媒を付けたり、(排気)温度を高くするため、焼却の熱を再加熱に費やすことで、発電効率が落ちたりとか、塩化水素対策では、石灰を多く排ガスに吹き込み、埋立された時、埋立地でスケールが発生したり、閉塞したりという形で、維持管理コストがかかる側面もある。基準のあり方も、施設整備基本計画の中で総合的に考えなければと思う。全国の事例から一般論として申し上げた。</li> </ul>	<p>地域住民</p> <p>事務局</p> <p>有識者</p>
2	<p>ごみ処理施設等見学報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学先のように、ごみ処理施設の中に市民活動ができる貸出室を作れば、ふれあい広場は運動場や公園を整備すればいいのではないか。</li> <li>・ 広島ではごみ処理施設が一面ガラス張りで結婚式の前撮りに使われたり、大阪ではテーマパークみたいな建物で観光名所になっていた。ただ、その施設を作るお金が2,000億円とのことで、大変な額だと思った。</li> <li>・ 昔は山奥にごみ処理施設を作ったが、今は街の中に作って、廃棄物エネルギーを利活用し、みんなに喜んでもらえるようにする時代だと思う。</li> </ul>	<p>地域住民</p> <p>事務局</p>
3	<p>廃棄物エネルギー利活用・環境等対策懇話会のまとめについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見まとめの基本方針と全体方針は、これでいいと思う。</li> <li>・ (有識者に)他施設を造るときのまとめ方と、盛岡市を評価すると、先進性、創造性、独自性で、どんな点数になるか。※1</li> <li>・ 今後の作業の中で、我々・地域住民に対して情報提供はあるか。</li> <li>・ 去年あたりから資材が高騰しており、予算ありきで「これはやめます」ということがないようにしてほしい。</li> <li>・ 懇話会は一区切りだと思うが、今後も地域の意見を聞く機会をぜひ作ってほしい。地域の声を反映してもらうことが地域振興につながる</li> </ul>	<p>地域住民</p>

	<p>と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー利活用について、施設を利用するであろう子供や女性、若い人たちに要望を出してもらって、検討する方法でも良いのではないか。</li> <li>絶対条件と出したが、いろいろ勉強し、今はそうではないと思っている。事務局を信じているので、環境に良い方向に持っていったらえればと思う。</li> <li>コミュニティセンターのような処理施設を作ってもらえればと思う。エネルギーを利用した施設のほか、公園やソフトボール、少年野球グラウンドを作ってもらいたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民への情報提供は大前提である。毎年の懇談会や会長さんたちへ説明、地域へ印刷物配布など行ってきた。今後はこういった形で情報提供すればいいか、考えていきたい。</li> <li>昨今の資材の高騰は施設整備に少なからず影響すると思う。どの程度の経費が掛かるか、何ができるか検討が必要。引き続き対話を重ね、エネルギー利活用も含めて、経費が掛かる部分、掛けなければいけない部分を見極めながら、対応していきたい。</li> <li>施設整備の具体的な部分を検討する際は、皆さんの意見を聞きながら進めていかなければならないと考えている。</li> </ul>	事務局
	<p>(※1への回答を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備について、構想の前段階から、長いこと住民合意形成を目指してやって、さらに次のステップに向けて、こういう懇談会の形で、みんなで意見を作るというのは、なかなか難しい。アセスの前にあちこちの施設を見てきたのはいいやり方だ。</li> <li>環境基準の設定について、議論できることもすばらしい。いかに費用を抑えて、環境的に安定したものを作って、その施設で地域に貢献していくということも大事である。</li> <li>地域と行政と一緒に信頼関係を作って、コンセプトを仕上げてきたプロセスが、他にない先進性があると思う。コミュニケーションを図りながら議論を積み重ねてきた体制や関係性は胸を張っていいと思う。</li> <li>施設整備は時間がかかるので、世代交代をしながら議論を続けていくと地域で応援団も増える。誇りに思える事業に仕上げる体制づくり・基盤ができた点はかなりの高得点になるのではないか。</li> </ul>	有識者